

# ひかりと いのちの なにかま

光寿院住職 酒生 文弥

## 温故知新のお正月

### 故を温め、新しきを知る

令和2年、西暦2020年、56年ぶりに東京が二度目のホストを務めるオリンピック・パラリンピックに胸弾む新年ですね。

私は、ローマ帝国の末裔ルーミアニア(正しい表記はローマニア)で賑やかな新年を迎え、ヤヌス神の故

地で故国を遠きに想いながら「温故知新」で歴史を振り返りたいと思います。

### 三つ目の東京オリンピック

昭和39年(1964年)の東京オリンピックを壮年時代にテレビ観戦した世代の一人として、聖火最

終ランナー坂井君、小野体操選手の宣誓、柔道、三宅選手の重量挙げ、「東洋の魔女」女子バレーなどヴィヴィッドに、走馬灯のように思い出されます。夢の超特急ひかり号新幹線が走ったのもこの頃です。後に「奇跡の高度成長」と称される経済大国をめざして滑走する日本。時代の高揚を体感して育ちました。亡き父が連れて行ってくれた昭和45年(1970年)の大阪万国博覧会、刮目される感動体験でした。

この時代の立役者であられた松下幸之助塾長は「PHP(繁栄を通しての平和と幸福)」を提唱されました。平和・幸福・繁栄は人類が分かち合うべき三位一体の価値です。

昨年のNHK大河ドラマ『いだてん』を観られた皆様はご存じでしょうが、実は幻に終わった「昭和15年(1940年)東京オリンピック」がありました。この年は皇紀2600年、世界と共に国民挙げて「奉祝」する予定でした。しかし、前年にヒトラーのポーランド侵攻で第2次世界大戦が勃発、「オリンピックの神々に捧げる平和の祭典」は消し飛んでしまいました。

この年に艦上戦闘機として採用されたのが零戦(レイセン、ゼロ戦と

も)です。2600の末尾零からの命名です。私は大戦期の航空機と艦船のマニアで、書斎は本と同じくらいの数の模型で埋め尽くされているのですが、戦艦大和と共にゼロ戦はその主役です。

### 共業としての国家と戦争

明治、大正、昭和の20年間、日本は帝国主義を戦い抜いた歴史でした。戦争は、とどのつまり人間の共業(カルマの塊)である国家間の殺し合いに他なりません。暴行、傷害、殺人は人間の罪業のあらわれであり、凶悪犯罪として「国家」は厳刑で処断します。なのに、国家同士の間の凶悪犯罪は、国家がこれを「合法的」に許容するので、小学生くらいから誰しも感じる、憲法9条と並ぶ大きな矛盾でしょう。

スペイン・ポルトガルが先導した「大航海時代」は、非西欧諸国・民族にとっては、徹底した人種差別に根差す「大殺戮時代」でした。その国際法的な合法化表現を「帝国主義」という訳ですが、極東(大英帝国から見ると東の極み)にあったことが幸いして、欧米白人至上主義に抗してスタンド・アローンで

きたのが、大日本帝国(1868~1945)です。当時の世界の現実を鑑みて、国家としての日本が「富国強兵」で突き進んだことは間違っていない。

なにせ、まだ島でしかなかった。同時に「帝国」と自ら名乗って、帝国主義時代というリングに駆け上った訳ですから。欧米列強に対しては一点の非もありません。植民地支配でなく、植民地から解放して、日本なりに最善の非欧米・非白人アジア文明を東アジアに広める。それが、近代日本の先人たちの本懐だったと思います。

霊園「春秋苑」創業者の浅野文彰先生、NHK解説委員長の緒方彰先生、伯父の岸副旦。

みな私の師ですが、全員、零戦搭乗員、特攻隊員でした。私が主催するNPO免疫療法懇談会の顧問のおひとり神山五郎先生も、マルレという特攻艇搭乗員でした。みな、お浄土に帰られました。実際に感慨あふれる方々でした。

戦争は、環境破壊と並んで、人類が文明として撲滅すべき課題です。しかし、近現代の日本の来し方を正しく見据えて、誇りをもって未来に向かうべきです。

今年(皇紀2680年) 幻の1

回目東京オリンピックから80年目のオリパラ。もって銘すべしでしょう。

### 天災の最たる大地震、人災の最たる気候変動

「日本は、屋根の上のバイオリン弾きなんですよ」2011年3月初旬、明治神宮で私のNPOが主催したシンポジウム「地球とこの統合医療」にニューヨークから招聘した、クーパー(オバマ政権のヘルスケア立案者のひとり)、キャサレス医学博士ご夫妻に、そう語りかけました。お二人が優秀なユダヤ系科学者であることを知った上で、地震国であることを示唆したつもり。つまり、四つもの不安定なプレート(屋根)の上で絶妙なバイオリン(文明)を奏でて来たのが日本だ、と言いたかったのです。

中高と地学部にいた私の大先輩のおひとり地球物理学の竹内均東大教授です。プレート理論の紹介者であり、映画『日本沈没』(オリジナル)では田所教授として出演。『ニュートン』初代編集長です。母が1947年の福井大地震をからくも生き延びたこともあり、恐竜と地震にはいささかの造詣があり

ます。盛況の裡にシンポジウムを終了し、浅草寺にご案内してお神籤をひいたところ、ご夫妻と私、全員が「凶」でした。3月9日、オランダに向かわれた飛行機がエンジン不調で遅延。「あの神社の神託はあっていたよ」とクーパー先生からメール。そして3・11を体験したのです。自宅まで50キロ歩きました。今年(関東大震災から98年、これも銘すべしです)。

気候変動(「環境破壊」は、地震と違って明らかで人災であり、マラソン会場が札幌に変更となった経緯に明白です。核戦争の危機よりも確実に人類と生態系を脅かしています。

ここトランシルバニア地方は絶品のハチミツでも有名ですが、ミツバチが全滅したら地球生態系は7年で滅びることになるそうです。

### 地獄は一定すみかぞかし？

新年早々、縁起でもない話を縷々述べてしまったかも知れませんが、『歎異抄』の有名な言葉です。地獄といえは血の川・針の山が相場ですが、究極の地獄は「七宝の獄」にあるとされています。煌びやかな御殿の中にこそ最悪の地獄

が起こりえるとの云い。個人や集団のカルマを行うのも、日々頂くご縁を生かすも殺すも、あなただ次第です。令和は吉兆に満ちた平和を含蓄しますが、この世を地獄の彼岸にするのも、お浄土の彼岸にするのも私たちがどんな人生のシユプールを描いて生かされるかにかかっています。

「まず有縁を度すべきなり(身近なご縁で助けあうべきです)」「大河の一滴である得難い、いのちどうし。大きなひかりに照らされる新年といたしましょう！」

### 酒生文弥

1956年9月8日 福井市篠尾町

浄土真宗本願寺派浄福寺

(753年創建)に生まれる

1980年3月31日 早稲田大学

政治経済学部卒業

1982年3月31日(勸松下政経塾

(第1期生)修了

1987年3月31日 龍谷大学大

院博士後期課程修了(仏教学・

比較宗教学)

同大学院から昭和59年9月、

昭和60年8月カリフォルニア

大学大学院宗教学研究科へ文

部省奨学生留学

1986年1月~12月 ニュージャ

ージー州立ラトガース大学大

学院へロータリー奨学生留学

浄土真宗本願寺派 得度(僧籍)

教師(在職資格) 頭座(僧侶最高位)

光寿院 www.kojuin.com/